



The Dream of Chemistry In Your Life.

住友化学
CORPORATE PROFILE

At a Glance

Number of Sumitomo Chemical

創業

1913 年

海外拠点数

79 拠点

(2021年4月現在)

連結子会社数

218 社

(2020年3月31日時点)

連結従業員数

33,586 名

(2020年3月31日時点)

連結売上収益

22,258 億円

(2020年3月期)

特許保有件数

13,021 件

(2020年3月31日時点)

Profile

私たち住友化学は、1913年、別子銅山（現在の愛媛県新居浜市）で行われていた住友の銅製錬事業において生じた煙害を解決するために、原因となる銅鉱石中の硫黄分を取り出し、それを原料に肥料を製造する「住友肥料製造所」としてスタートしました。

「環境問題の克服」と「農業振興への貢献」を共に目指して設立された当社は、社会の信頼に応えることを最も大切にするという住友の事業精神と、「自利利他公私一如」、すなわち「自身を利するとともに事業を通じて広く社会に貢献していく」という考え方を、創業以来脈々と受け継いできました。この理念の下、当社は、時代の要請に応え、多様な事業を展開し、絶えざる技術革新で、人々の豊かな暮らしを支えています。

経営理念

- ◆ 技術を基盤とした
新しい価値の創造に常に挑戦します。
- ◆ 事業活動を通じて
人類社会の発展に貢献します。
- ◆ 活力にあふれ社会から信頼される
企業風土を醸成します。

豊かな明日を支える 創造的ハイブリッド・ケミストリー

住友化学の強み

Core competence

CORE
COMPETENCE

1

幅広い技術基盤を生かした
ソリューション
開発力

⇒ P.6-9

CORE
COMPETENCE

2

グローバル市場への
アクセス

⇒ P.10-11

CORE
COMPETENCE

3

ロイヤリティの高い
従業員

⇒ P.12-13

住友化学は3つの経営理念の下に培ってきた「幅広い技術基盤を生かしたソリューション開発力」「グローバル市場へのアクセス」「ロイヤリティの高い従業員」の3つをコア・コンピタンスと認識しています。これらを最大限に生かし、環境問題や食糧問題をはじめとする社会課題の解決と、人々のQuality of Lifeの向上に全力で挑んでいます。

住友化学の 挑むべき課題(事業機会)

ソリューションの提供

経済価値、
社会価値の両方を創出し、
住友化学の持続的な成長と
サステナブルな
社会を実現



Solutions

SDGsの達成への貢献

住友化学グループは革新的な技術により、当社の持続的な成長だけでなく、サステナブルな世界の実現にも寄与したいと考えています。これは同時に、国連の掲げる持続可能な開発目標(SDGs)に貢献することにもなります。地球がこれからも持続し、誰一人として取り残さない世界が実現するよう、当社も責任を持って事業に邁進したいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



CORE
COMPETENCE

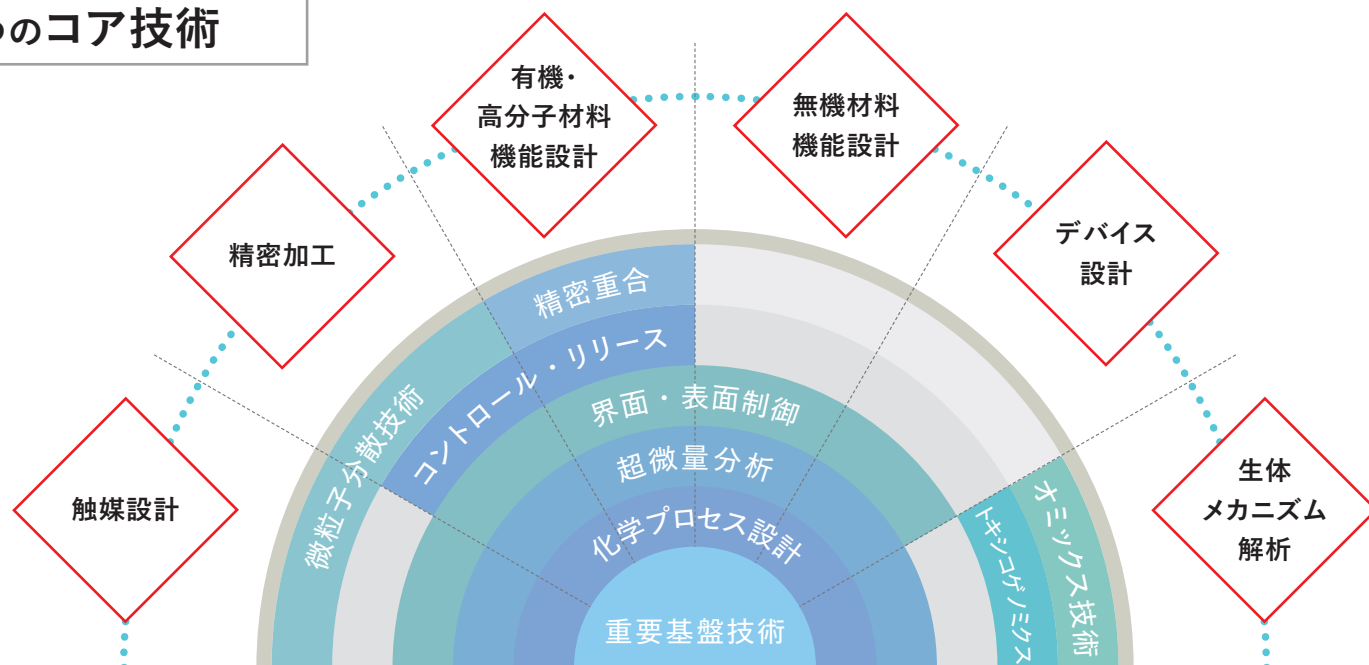
1

幅広い技術基盤を生かした ソリューション開発力

長年にわたる広範な研究活動を通じて培った「6つのコア技術」。住友化学の基本戦略は、これら6つのコア技術の深化と基盤技術の充実を図ること。さらに、異分野技術との融合で、高付加価値の製品や技術を創出することです。



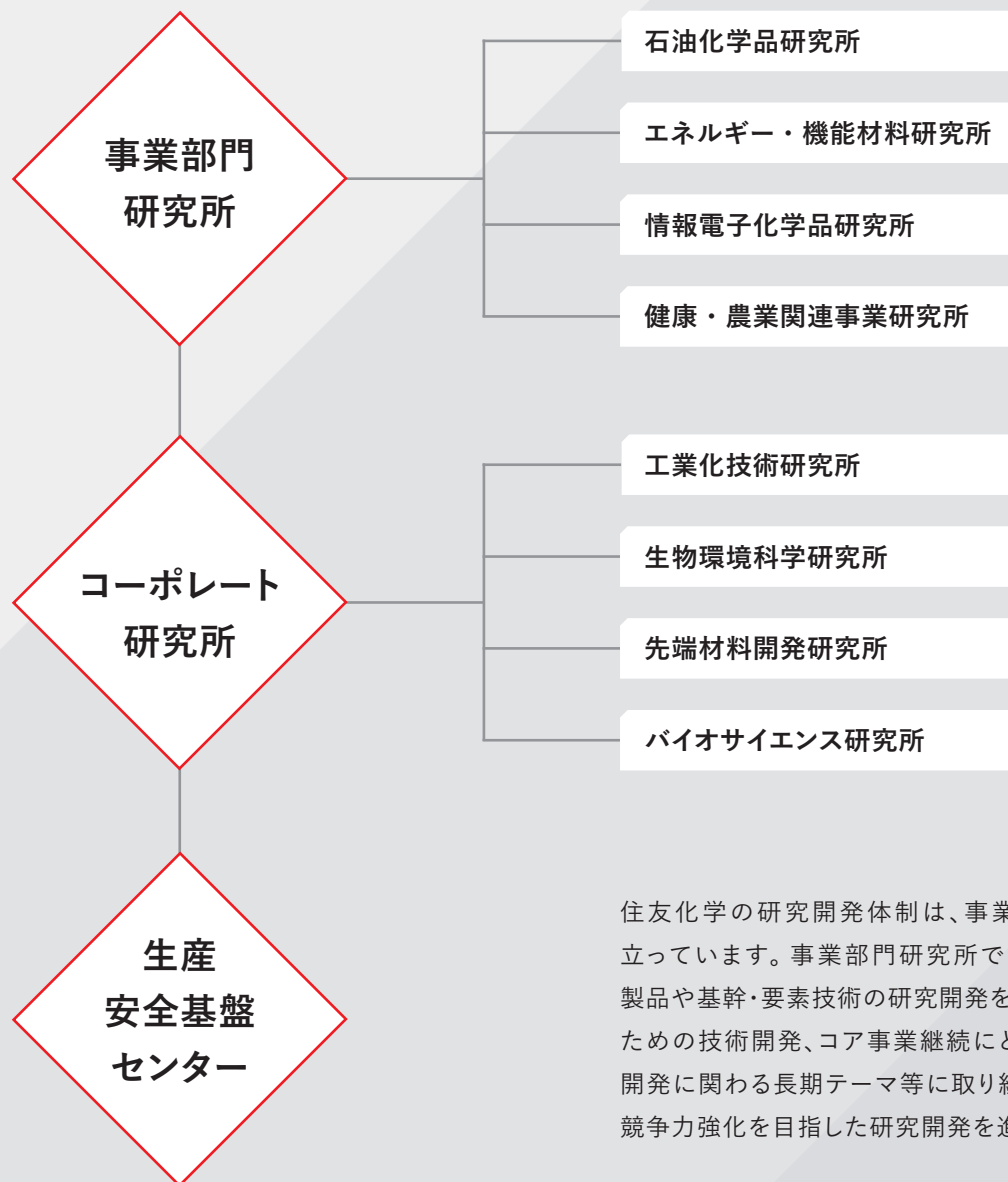
6つのコア技術



基盤技術

有機合成 無機合成 分析・物性評価 安全性評価 安全工学 設備材料技術 計算機シミュレーション

研究開発体制



住友化学の研究開発体制は、事業部門研究所とコーポレート研究所、生産安全基盤センターから成り立っています。事業部門研究所では、製造・販売と一体となって、事業活動の維持・強化・拡大に資する製品や基幹・要素技術の研究開発を行っています。一方、コーポレート研究所では、新規事業分野へ進出するための技術開発、コア事業継続にとって競争優位をもたらす共通基盤技術の開発、次世代製品・プロセス開発に関わる長期テーマ等に取り組んでいます。また、生産安全基盤センターでは、保安・防災力や工場の競争力強化を目指した研究開発を進めるとともに、生産部門の支援活動も積極的に行っています。

サステナブルな社会の実現に向けた 次世代技術の開発促進、新規事業の創出

住友化学は、中長期的に取り組むべき4つの重点分野を定めました。これらの分野を中心に、当社のコア技術を生かしてイノベーションを加速させ、世界の社会課題やトレンドに対する新たなソリューションを生み出します。

CORE
COMPETENCE

1

ヘルスケア



Sumika Sustainable Solutions

ベクターコントロール殺虫剤
感染症媒介昆虫の防除に大きな役割を果たすとともに、気候変動による影響への適応に貢献。



住友化学の挑戦

核酸医薬、再生・細胞医薬などの先進医薬関連事業に加え、医薬品を超えたヘルスケアソリューションに取り組めます。



環境負荷低減



Sumika Sustainable Solutions

ハロゲンフリー難燃エラストマー
鉄道および建築材料等に用いられる部材で、ハロゲン系難燃剤を使用せずに同等の難燃性を達成。また、燃焼時における有害ガスの排出抑制に貢献。



住友化学の挑戦

次世代蓄電池材料や、エネルギー効率を高める分離膜の開発、シンセティックバイオロジー(合成生物学)による低環境負荷バイオプロセス開発などに取り組めます。



Sumika Sustainable Solutions

温暖化対策、環境負荷低減などに貢献する製品・技術を認定し、その開発や普及を促進する取り組みで、2016年11月にスタートしました。2021年度までの6年間で認定製品・技術の売上規模を倍増させることを目指しています。



食糧



Sumika Sustainable Solutions

バイオラショナル製品
(微生物農薬、植物生長調整剤、根圏微生物資材)

天然由来などの有効成分を利用。持続可能な農業の推進や、安全・安心な農作物の安定供給に貢献。



住友化学の挑戦

精密農業関連事業や、食品センシング関連事業、ゲノム編集技術を用いた育種などに取り組みます。

2 削減をゼロに

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に 具体的な対策を

ICT



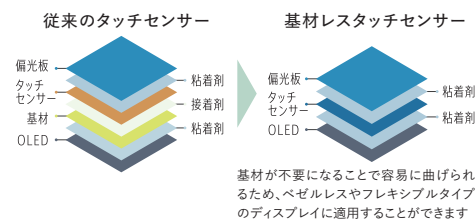
Sumika Sustainable Solutions

基材レスタッチセンサー

従来のタッチセンサーでは必須であったガラスやフィルムなどの基材を使用せずとも、タッチセンサーの機能を十分に発揮させることが可能。省資源化に貢献。

住友化学の挑戦

Society 5.0(超スマート社会)や、スマートモビリティの実現に向けた、次世代のディスプレイ・半導体関連の部材開発などに取り組みます。



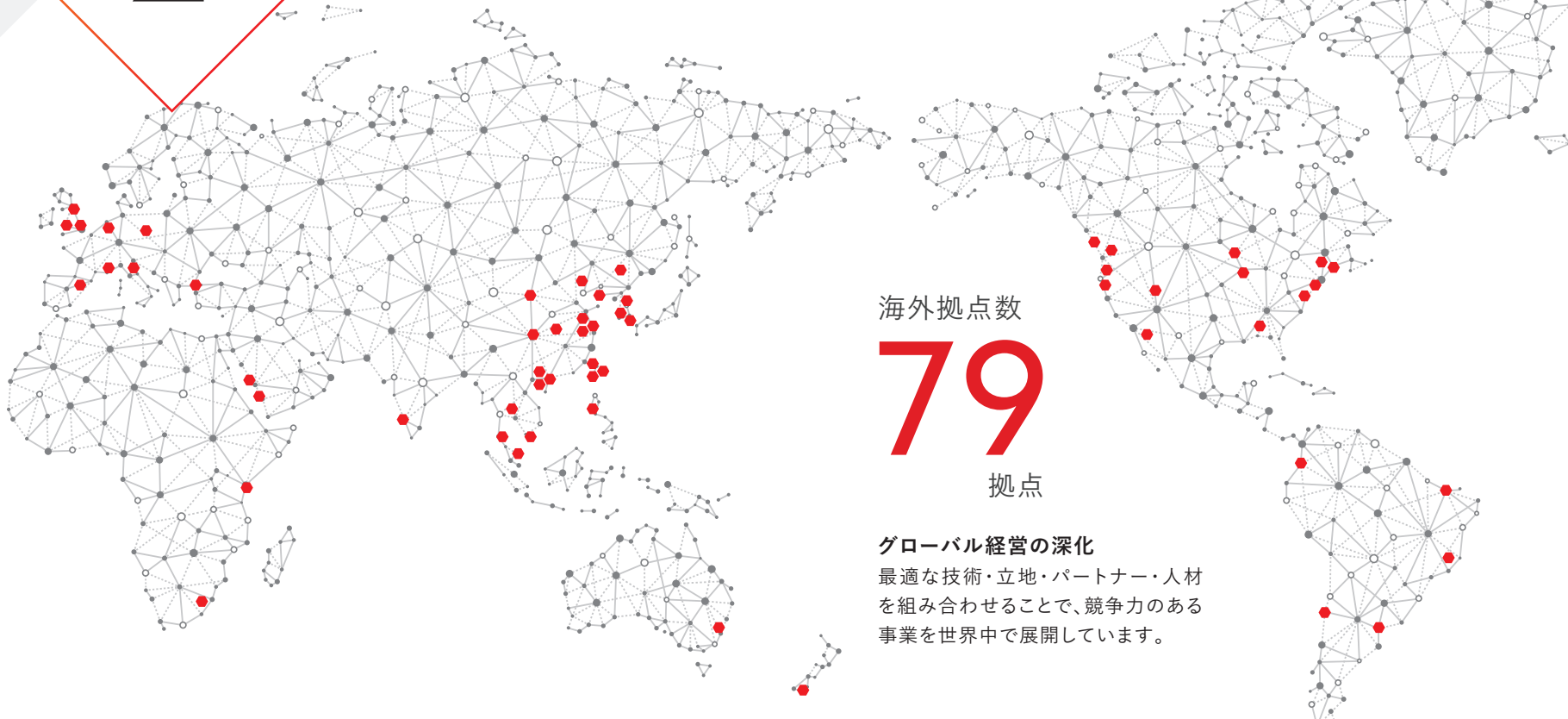
12 つくる責任 つかう責任

CORE
COMPETENCE

2

グローバル市場への アクセス

世界経済や社会の枠組みの変化に対応するため、住友化学はすべての事業で積極的なグローバル化を進めました。私たちはこれからも自社のソリューションをグローバルに提供し、新たな価値を創造していきます。

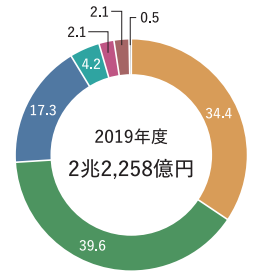


グローバル経営の深化

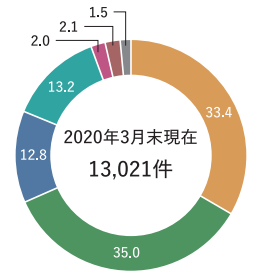
最適な技術・立地・パートナー・人材を組み合わせることで、競争力のある事業を世界中で展開しています。

地域別情報

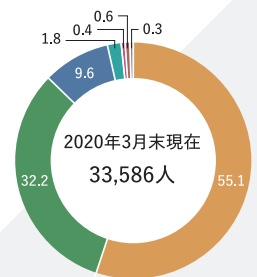
地域別売上収益(%)



地域別保有特許件数(単体)(%)



地域別従業員数(%)



- 日本
- アジア
- 北米
- 欧州
- 中東・アフリカ
- 中南米
- オセアニア 他



サウジアラビア
Rabigh Refining and Petrochemical Company



韓国
SSLM Co.,Ltd.



中国
住化電子材料科技(無錫)有限公司



アメリカ
Valent BioSciences LLC

住友化学の 国内拠点



東京本社
※2021年11月移転（予定）



三沢工場



先端材料開発研究所（筑波）



千葉工場



大阪本社



大阪工場



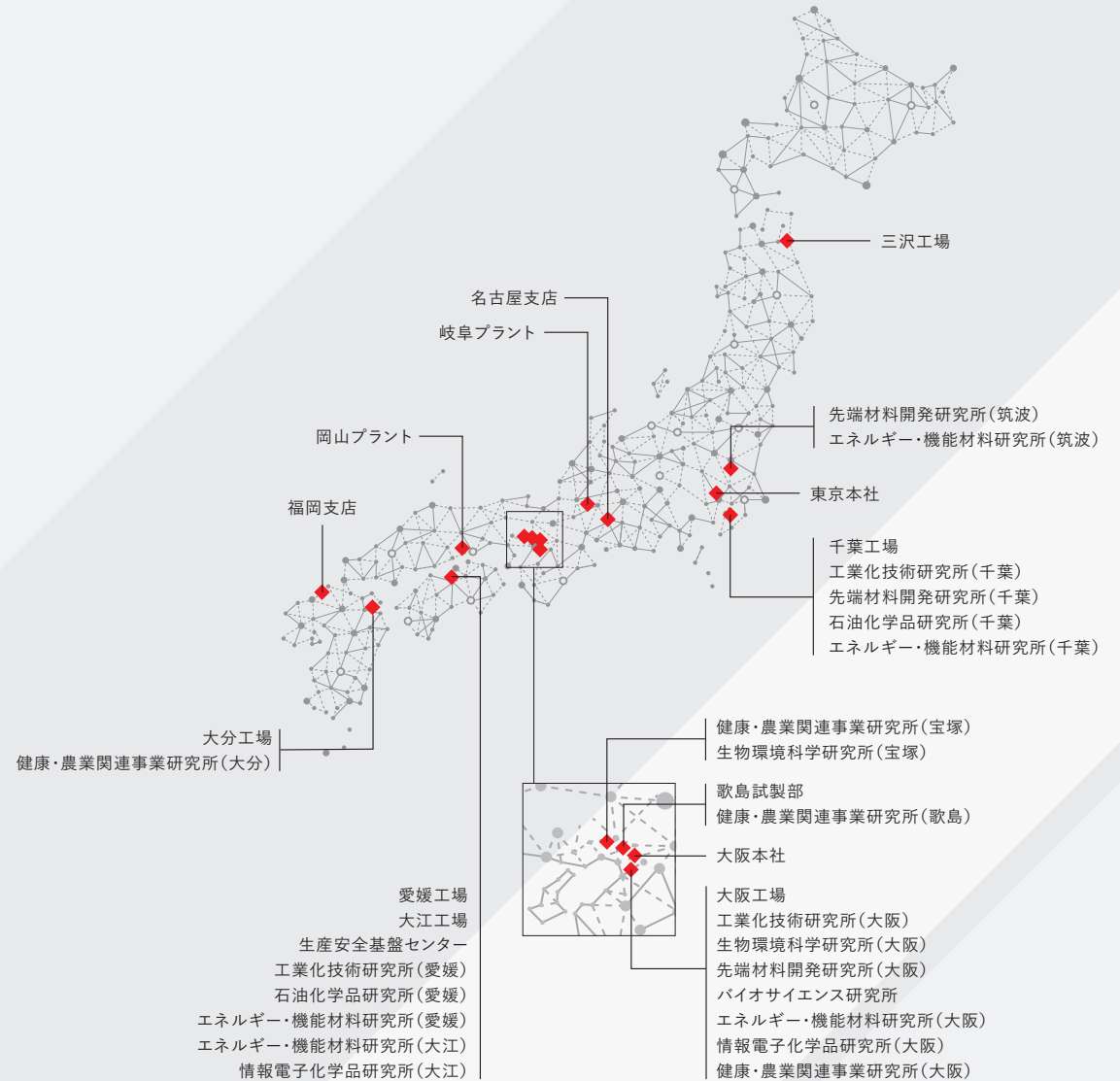
健康・農業関連事業研究所（宝塚）



愛媛工場・大江工場



大分工場



CORE
COMPETENCE

3

ロイヤリティの高い従業員

住友化学グループでは、世界中で約3万4千人の従業員が活躍しています。従業員の一人一人が、高いロイヤリティと使命感を持って日々の業務に邁進していることは、当社グループにとって大きな強みの一つとなっています。



レスポンシブル・ケア 安全をすべてに優先させる

レスポンシブル・ケアとは、化学製品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るライフサイクルにおいて、「安全・環境・健康」を確保すること、製造する化学製品の品質維持・向上を図ること、そしてこれからの活動について、対話を進めることで社会からの信頼を深めていくことを目指す、化学産業の事業者による自主的な取り組みです。住友化学グループは、「安全をすべてに優先させる」の基本理念の下、さまざまな観点からレスポンシブル・ケア活動に取り組んでいます。

グループ全拠点における安全確保への取り組み

住友化学グループでは、安全確保の取り組みを通じて、全拠点で事故・労働災害ゼロの達成を目指しています。そして、地域対話を通じて、こうした取り組みを近隣の皆さまに説明することで、相互理解を深めていくように努めています。

地域対話の実施状況 (2019年度 住友化学各事業所)

開催回数

35回

参加者数

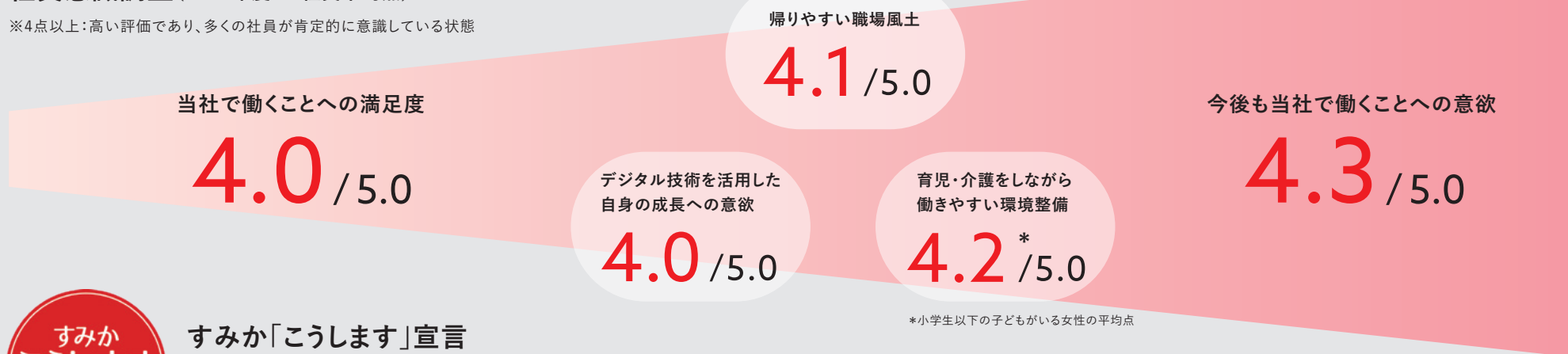
374名

働くことへの満足度・ 充実感の拡充に向けて

「持続的成長を支える人材の確保と育成・活用」を中期経営計画の基本方針の一つとして掲げ、「育成と成長」を基本理念とする人事制度の下、多様な人材が健康で生き生きと働くことができる人事施策を推進しています。「すみか『こうします』宣言」の取り組みも通じて、従業員の働くことへの満足度・充実感の拡充を図っています。

社員意識調査 (2019年度・全社員平均点)

※4点以上:高い評価であり、多くの社員が肯定的に意識している状態



すみか「こうします」宣言

従業員が住友化学で働くことに意義と誇りを感じ、心身共に健康で充実した人生を送ることができるよう、大切にしたい価値や考え方を宣言し、各取り組みを一層進展させています。

1 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活を調和させ、充実感のある人生を目指します

- ①STOP!長時間労働
- ②ワーク・ライフ・バランス制度の十分な活用・利用しやすい雰囲気づくり
- ③有給休暇80%取得、フレックスタイム制の効果的活用
- ④休日・深夜労働を前提とした業務指示・遂行の禁止
- ⑤職場での協力体制

労使共同で宣言

2 ダイバーシティ & インクルージョン

互いの多様性を尊重し活かし合い、ひとり残らずみんなの活躍を目指します

- ⑥男性も女性もいきいき活躍!
- ⑦なくします!無自覚の思い込み・決めつけ
- ⑧目指せ!人材ハイブリッド集団
- ⑨障がいのある人の活躍推進
- ⑩NO!ハラスメント

3 育成と成長

育成と成長で従業員も会社も共に発展!

- ⑪みんなの成長に投資します
- ⑫毎日勉強、日々成長
- ⑬「学びたい」を応援します
- ⑭デジタルの力で成長を加速!
- ⑮チャレンジさせます。やってみせます。

4 健康社員

健康なくして仕事・生活の充実なし!

- ⑯食を見直し脱メタボ
- ⑰ちょっと運動・ずっと健康!
- ⑱ハイパフォーマンスは眠りから
- ⑲タバコ…百害あって一利なし
- ⑳“こころ”のケアも忘れずに

会社・健康保険組合が共同で宣言

5 仕事の進め方

一人ひとりが合理的・効率的・創造的に仕事を進めることで、社員の実力の向上と会社の成長につなげます

- ㉑仕事の目的や方法を常に見直します
- ㉒デジタルの活用を当たり前のことにします
- ㉓過剰品質を排除し、ムダのない仕事を
- ㉔「会議」の付加価値を最大限に高めます
- ㉕顧客ファースト!

会社が宣言

事業部門紹介

石油化学、エネルギー・機能材料、情報電子化学、健康・農業関連事業、医薬品。私たち住友化学は現在、これら5つの事業分野（部門）にわたり、幅広い産業や人々の暮らしを支える製品をグローバルに供給しています。



石油化学部門

基礎原料事業部 / 工業化学品事業部 / 樹脂関連事業開発部 / ポリオレフィン事業部 / 自動車材事業部

日本・サウジアラビア・シンガポールに製造拠点を有し、それぞれの拠点の強みを活かして、ポリエチレン、ポリプロピレン、メタクリル樹脂などの合成樹脂や、合成繊維原料、各種工業薬品などを製造し、顧客の幅広いニーズに応え、さまざまな産業の礎となる化学製品を提供しています。



プロピレンオキシドを原料として作られたクッション材を使用する自動車シート



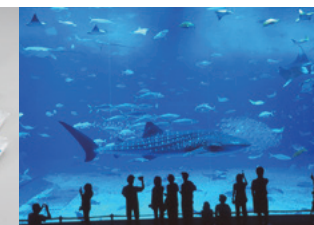
カプロラクタムとナイロン製品



ポリプロピレンで作られた自動車のインストルメントパネル



ポリエチレンを用いて作られたさまざまな製品



メタクリル樹脂を用いて作られた水族館の大型水槽

エネルギー・機能材料部門

無機材料事業部 / 化成品事業部 / 機能樹脂事業部 / 電池部材事業部

省エネルギー製品に使用されるアルミナ等無機材料、高性能な高分子添加剤、電子部品・次世代自動車に用いられるスーパーエンジニアリングプラスチックやリチウムイオン二次電池用部材など、環境負荷低減や省資源・省エネルギーに貢献する機能化学品を幅広く提供しています。



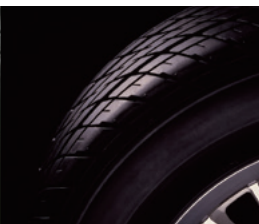
アルミナ粉末とアルミナを使用した製品



アルミニウム地金



レゾルシン



合成ゴムで作られた自動車タイヤ



スーパーエンジニアリングプラスチック



セパレータ「ベルヴィオ®」

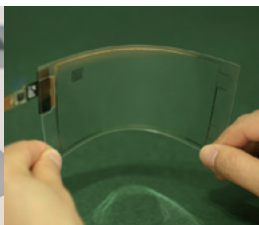
情報電子化学部門

光学製品事業部／電子材料事業部

液晶や有機ELのディスプレイに使われる光学機能性フィルム、タッチセンサーパネル、カラーレジスト、高分子有機EL材料。半導体製造工程で使われるフォトレジストや高純度薬品。そして通信端末のアンテナスイッチなどに使われる化合物半導体材料。IoT時代を支える製品を幅広く供給しています。



偏光フィルム「スミカラン®」



タッチセンサーパネル



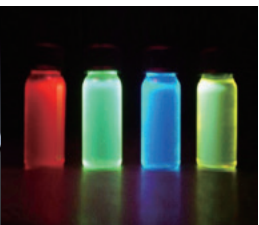
カラーレジスト「ダイブライト®」



フォトレジスト「スミレジスト®」



化合物半導体材料



高分子有機ELインク

健康・農業関連事業部門

アグロ事業部／国際アグロ事業部／生活環境事業部／アニマルニュートリション事業部／医薬化学品事業部

農作物の安定的な供給、世界の人口増加に対応するための食糧増産、感染症の蔓延防止、衛生的で健康な生活の実現などに貢献するため、農業や肥料、飼料添加物のほか、家庭用殺虫剤、感染症対策製品、医薬品原薬・中間体などを製造・販売しています。



農業用殺虫剤や除草剤などの各種農業関連製品



家庭用殺虫剤原体等



マalaria予防用長期残効型防虫蚊帳「オリセット®ネット」



飼料添加物DL-メチオニン、メチオニンヒドロキシアナログ



医薬品原薬

医薬品部門

住友化学の医薬品事業は、高度な有機合成技術を基盤に、日本で初めて合成医薬品を製造したことに始まります。現在は医療用医薬品事業を中心とする大日本住友製薬株式会社と、放射性医薬品事業を中心とする日本メジフィジックス株式会社の両社を軸に事業を展開しています。

大日本住友製薬株式会社



大阪研究所での研究風景

日本メジフィジックス株式会社



PET検査用放射性医薬品の製造風景

住友化学グループのサステナビリティ

住友化学グループは、サステナビリティの推進を「事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を実現する」と定義しています(サステナビリティ推進基本原則)。これは、住友の事業精神の一つである「自利利他 公私一如」に基づく創業以来の考え方であり、イノベーションを通じて、経済価値(自利)と共に、社会価値(利他)の創出を推進します(同原則1)。また、こうした取り組みは、安全・安定操業の継続やコンプライアンスの徹底、従業員の健康など、事業継続のための基盤の上に成り立っていることから、引き続き地道な活動に取り組むとともに、さらにレベルアップを図っていきます。

外部評価 (ESG関連)

ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字です。ESG関連で当社が受けた主な外部評価を紹介します。

ESG関連の受賞・評価



CDP「気候変動Aリスト2020」



CDP「水セキュリティAリスト2020」



エコバディス サステナビリティ調査
「ゴールド」評価

住友化学株式会社

会社名 住友化学株式会社(2004年10月1日商号変更)
創業 1913年9月22日
営業開始 1915年10月4日
資本金 89,699百万円(2021年3月31日現在)



<https://www.sumitomo-chem.co.jp>



レスポンシブル・ケア